

ATA ASADA

代表麻田春江

茨城県取手市井野台 1-7-28 〒302-0015 Tel:0297-72-2401 Fax:0297-72-6217

e-mail: officeasada_h@ybb.ne.jp

docomo: 090-8720-8591 i Phone: 080-3495-2401

平成24年2月 第33号

マストラスト オフィスASADA通信のご案内

新たな年の幕開けから、早や 1 ヶ月が過ぎました。新年と云うのは人生の大きな流れの中で、切りかえが出来る絶好のとき、だから「新年あけましておめでとう」と云うのだそうです。皆様も「今年こそは…」または「今年からは…」と心新たに新年を迎えられたことと思います。

さて、2月14日はバレンタインデーです。今年も又、北海道帯広の「六花亭 ビタスィートチョコレート」をプレゼントさせて頂きました。ほんのひと口ですが同封致しましたのでご賞味頂ければとても嬉しいです。

今月のテーマは

- ◆ 生命保険料控除の改正と介護医療保険料控除の新設
- ◆ 受動喫煙防止対策助成金制度の創設
- ◆ 男子テニス「錦織 圭」選手、グランドスラムへの扉・盛田 正明氏トップ選手育成ペファ

― 生命保険料控除の改正と介護医療保険料控除の新設 ―

改正後の生命保険の控除では**平成24年(2012年)1月1日以降の保険契約**について、医療保険 や介護保険などを対象とした「**介護医療保険料控除」が新設**され、これまでの「一般生命保険料控 除」、「個人年金保険料控除」とは別枠で所得税最高4万円、個人住民税最高2.8万円の控除をする ことができます。

これに伴いこれら **3 つの保険料控除の合計が所得税「最高 12 万円**」になります。保険のニーズの変化などもあり医療保険などの販売が活発に行われています。このようなことを踏まえて控除の種類を増やして(介護医療保険料控除の新設)適用対象を広げたということです。

※平成23年12月31日までに契約したものは現行どおりです。詳細については後日のASADA通信でお知らせします。

― 受動喫煙防止対策助成金制度の創設 ―

喫煙室設置に係る費用の 1/4 (上限額: 200 万円) が、受動喫煙防止対策に取り組む中小企業事業主に助成されます。

対象は労災補償の適用事業主で中小企業事業主、飲食店・喫茶店・旅館業を経営する事業主で喫煙室設置の際の書類を適切に保管していることが条件です。この制度は、平成23年10月1日より開始されています。

男子テニス 錦織 圭 選手 一



テニスの全豪オープン男子シングルスで、1月23日に日本男子80年ぶりの8強入りを果たした。錦織圭について24日付のオーストラリアの地元紙「エージ」は「The rising son」の見出しで、昇る「sun(太陽)」と「son(男子)」をかけて、日本から誕生したホープの活躍をスポーツ面トップで扱った。1932年に佐藤次郎が4強、布井良助が8強入りして以来80年ぶりの快挙である。

4 強入りをねらった錦織圭は「BIG4」の一人アンディ・マリー(英国)を相手に自分のスタイル(エアーショット)で戦い抜いたが残念ながら夢は砕かれた。

錦織圭は「ああいう選手に勝つには 100%以上の力を出さないと難しいと改めて感じました」とコメントしている。このベスト8の成績により世界ランキング20位になることが確定している。

グランドスラムへの扉・盛田 正明氏トップ選手育成へファンド ー

錦織圭の第一の転機は、13歳のころに米フロリダ州のプロテニスプレイヤー養成学校「IMGニックボロテリー・テニスアカデミー」へ留学したこと。日本テニス協会会長が運営する「盛田正明テニス・ファンド(MMTF)」の奨学金で渡米した期待の選手だった。

盛田正明氏はソニー元副社長で日本テニス協会会長である。私財を投じて基金を設立し、世界レベルのトップ選手育成に情熱を注いできた。

70歳でソニーグループを引退し、経営者としての夢がなくなったとき、死ぬまで追いかけられる次の夢は何だろうか?まずは自分が熱中できることは何かを考える。そして思い浮かんだのはテニス。長年テニスが趣味だった事と、仕事で知り合った世界中の友人や兄の昭夫氏(ソニー創業者)とテニスをしてきた。英ウィンブルドン選手権や全米オープンに毎年観戦に行ったが、決勝戦でプレーしているのは外国人選手ばかり。日本人がいないことが寂しかった。

そう考えて、2000年にジュニア選手を育成する「**盛田正明テニス・ファンド**」を設立。テニス選手を育てるにあたって、ソニーでたたき込まれた「**人がやらないことをやる**」という目標を設定。

普通の努力ではとても無理な目標を達成するには、ゼロから考える創造性が求められる。

奨学金制度はたくさんあるが、人がやったことがない「グランドスラムで優勝できる選手を育てる」という目標を設定。決して不可能な目標ではない。これまで13人のジュニア選手を米国留学させ、その中から錦織圭が出てきた。最初はトッププロになれるのか、誰も分からなかった。人の成長というものは様々な条件や環境が関係するものである。

******* 命がけ 税金払う 喫煙人 独楽 ******* サラリーマン川柳より